

えんだより 卒園記念号

◇発行◇令和8年3月14日
 広島文教大学附属幼稚園 TEL (082) 814-4032
 FAX (082) 814-7206
 Eメール : fyouchien@h-burkyo.ac.jp
 ホームページ : h-burkyo.ac.jp/kindergarten

～ 卒園児自画像 ～



ご卒園おめでとうございます

子どもたちは、毎日、チャレンジタイムで、モンテッソーリ教育の5領域（日常生活訓練、感覚、数、言語、文化）の中から、自分のやりたいことを選び、繰り返し取り組み、自分を育てていきます。指先が育ち、さまざまな感覚が洗練され、数について知り、読み書きができるようになり・・・わかることやできることが増えていきます。その育った力を基にして、毎年A組は今年ならではのテーマを決めて、取り組みます。今年度は、「みみずコンポスト～ぐるぐるまわる循環～」でした。

B組のとき、A組の『みみずコンポスト』の取り組みを見てきたので、「しまみみずのお世話をしたい!」と楽しみにしていました。しまみみずについて、光和商事さんから話をききました。しまみみずに給食の残りをあげました。液肥、堆肥を使って、きゅうり、なすを育て、収穫、収穫した後の片づけ。サツマイモの苗植え、収穫、大学生とのクッキング、そしてサツマイモの茎を使ってのリース作り。しまみみずについて、よりたくさんの人に知っていただくために、光和商事さんと2回の発表もさせていただきました。自分たちの思いを言葉で伝える大切さも経験しました。「一年間、たくさんのご体験してきたよね。BCD組さんに何を伝えたい?」の問いかけに、「しまみみずのことを教えたい。」「どうやったら、ごみ(使えないもの)をださずにできるか話したい。」「どの方法でつたえたい?」の問いには、「話をしたい。」子どもたちは、言葉で伝えることを選びました。一人一人が伝えたい言葉を考えました。しまみみずのことで、わかったこと、知らせたいこと。または、ごみを減らすためにできることを考え、そして、BCD組さんの前で宣言しました。「みんな考えたよね。それをどうしたらいい?」と聞くと、「できることからやってみる」「友だちに教える」とA組さん。ただ思う、考えるだけでなく、行動に移していくって素晴らしいですね。伝えていくことも循環の一つ。そして、不必要なものはない。それぞれに役割を持っている。人も、みんな必ず何かの役割を持っている。お互いがお互いを認めながら、それぞれの役割を務め、繋がっていくことで、また自分に戻ってきます。

子どもたちが育っていく未来が、住みよく安心して暮らせる平和な世界であることを願っています。私たち大人も、現状を知って、できることから行動していくことの大切さを、A組との活動を通して、改めて感じました。

こんな素敵な子どもたちと一緒に歩めた日々感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

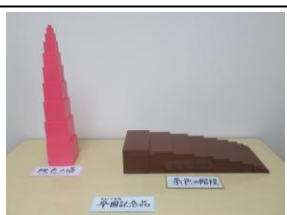


令和7年度 第55回卒園児名

| すぎの木組 | くすの木組 | ならの木組 | もみの木組 | かしの木組 |
|--|---|---|--|---|
| 梅本 怜実 是津 和花奈 豊柴 弓月 野村 柊成 本田 絵唯 丸田 圭吾 宮谷 旬 山口 玄 横田 尚也 | 牛尾 壮太 梅野 晴瀬 喜多 穂乃華 末廣 朔也 高橋 紬 田淵 蒼弥 内藤 鈴 松本 紗奈 | 伊藤 都花紗 上野 智葵 沖 穂乃佳 品川 夏輝 塗本 齊慈 野村 莞佑 迎川 裕紀 吉原 小葉 | 五反田 修也 下瀬 稜馬 庄野 圭真 中洲 汐夏 原 志道 升本 晴 矢間 ゆい花 矢野 佑真 | 上田 伊和時 大野 菱花 亀尾 光生 河上 果鈴 北田 結惺 関 桔平 對馬 陽斗 矢間 すす花 |

卒園記念品

桃色の塔（ピンクタワー）一式
 茶色の階段 一式
 ありがとうございました。



令和7年度末 退職者のお知らせ

令和8年3月31日付で、
 森澤先生、黒川先生、土田先生が退職されます。
 先生のこれまでのご尽力に感謝すると共に、
 今後のご健康とご多幸を祈念いたします。